

令和3年第2回立科町議会定例会会議録

1. 招集年月日 令和3年6月4日(金曜)

1. 招集の場所 立科町議会議場

1. 開会 午前10時 宣告

1. 応招議員

1番 今井 健児	2番 芝間 教男	3番 中島 健男
4番 中村 茂弘	5番 森澤 文王	6番 今井 清
7番 村田 桂子	8番 榎本 真弓	9番 森本 信明
10番 滝沢寿美雄	11番 今井 英昭	12番 田中 三江

1. 不応招議員 なし

1. 出席議員 12名

1. 欠席議員 なし

1. 地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職・氏名

町長 両角正芳	副町長 小平春幸	教育長 塩澤勝巳
総務課長 齊藤明美	町民課長 荻原義行	企画課長 竹重和明
教育次長 櫻井 豊	建設環境課長 篠原英男	
産業振興課長 今井一行	会計管理者 羽場厚子	
たてしな保育園長 山口恵理	庶務係長 田口 仁	

1. 本会議に職務のため出席した者の職・氏名

議会事務局長 羽場雅敏	書記 伊藤百合子
-------------	----------

散会 午前10時31分

議長（田中三江君） おはようございます。これから、本日6月4日の会議を開きます。

本日の会議において、信濃毎日新聞社の取材を許可してありますので、ご了承願います。

本日の議事日程は、お手元に配付したとおりです。

◎日程第1 議案第37号

議長（田中三江君） 日程第1 議案第37号 立科町福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例制定についての質疑を行います。

質疑のある方の発言を許します。質疑はありませんか。

〔（なし）の声あり〕

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

◎日程第2 議案第38号

議長（田中三江君） 日程第2 議案第38号 立科町子育て支援住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例制定についての質疑を行います。

質疑のある方の発言を許します。質疑はありませんか。

〔（なし）の声あり〕

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

◎日程第3 議案第39号

議長（田中三江君） 日程第3 議案第39号 立科町給水条例の一部を改正する条例制定についての質疑を行います。

質疑のある方の発言を許します。質疑はありませんか。

〔（なし）の声あり〕

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

◎日程第4 議案第40号

議長（田中三江君） 日程第4 議案第40号 令和3年度立科町一般会計補正予算（第2号）についての質疑を行います。

質疑のある方の発言を許します。質疑はありませんか。6番、今井 清君。

6番（今井 清君） 6番、今井です。ページは、20ページの農林水産業費の関係でお伺いします。ここに土地改良振興経費で、農地耕作条件改善事業実施設計とありますが、この具体的な中身について詳しい説明をお願いします。

議長（田中三江君） 今井産業振興課長。

産業振興課長（今井一行君） これは、蟹窪地籍のワインブドウ畑があるわけなんですけど、そこ道路を、広い道路につなぐための道路の実施設計のための委託料でございます。測量については既に済んでおりますので、工事発注用の設計の関係になります。以上です。

議長（田中三江君） 6番、今井 清君。

6番（今井 清君） 内容は分かりました。それで、農地耕作条件改善事業というのは、非常に内容の深い事業だと承知していますが、この蟹窪以外で今後農地耕作条件改善事業ということは、これは含まれないで今回はそれだけということでしょうか。

議長（田中三江君） 今井産業振興課長。

産業振興課長（今井一行君） 今回、蟹窪地籍の道路改良といいたいまいしょうか、道路拡幅の関係で補助事業を、言ってみると、見つけてきたということでもあります。今後ほかの場所であるかどうかについては、ここではあるともないともお答えできませんが、その状況によって対応出来るものがあれば対応していくということになるかと思えます。

議長（田中三江君） ほかに質疑はありませんか。7番、村田桂子君。

7番（村田桂子君） 7番、村田です。まず、19ページの交流促進センターの経費ということでお伺いします。

非接触型体温測定器というのを、これは新規に買うんだと思うんですけど、どこで利用するというか使うんでしょうか。それが1点と、道の駅の管理経費のところ、光熱水費、急速充電器だというふうに向ったんですけども、これを増やすということのはかなりの利用があつて増えているんだと思うんですけど、現在までの利用とこれから先の見込みをどのように考え、この金額にしてあるんでしょうか。それが今の農林水産のところでお伺いしたいところです。

ほかでもいいですか、まだ。1か所。

議長（田中三江君） とりあえず、そこで一区切り。今井産業振興課長。

産業振興課長（今井一行君） まず、非接触型の体温計につきましては、交流促進センター、いわゆる耕福館での利用を想定してございます。

それから、光熱費と通信運搬費の関係ですが、これは提案説明のほうで総務課長のほうからも説明があつたんですが、ここで12の委託料を減額している分がございまして。この急速充電器の関係は、指定管理者との関係ではなく、町が直接に今後対応していくべきということで当初委託料のほうに入っていましたが、それを組み替えております。したがって、特別使用料が増えたということではなくて、予算の組み替えということでご理解をいただければと思います。よろしくお願ひします。

議長（田中三江君） ほかに質疑はございましてか。7番、村田桂子君。

7番（村田桂子君） 引き続き農業関係ですけど、農林造成事業経費で、面積が拡大したために設計監理・測量委託料を増やしたとおっしゃいました。これは、場所はどこになつてどのくらい、何メートル、何ヘクタールくらいを予定されているのかお願ひしま

す。

議長（田中三江君） すいません、村田桂子君、ページを教えてください。

7番（村田桂子君） 次のページです。20ページです。

議長（田中三江君） すいません、もう一度質問をお願いいたします。

7番（村田桂子君） 20ページの農林水産業費の中で、森林造成事業経費で176万円が盛り込まれていますよね。これの説明では、面積が拡大したので新たに増やしましたよというご説明でしたよね。場所はどこなんだろうということと、何ヘクタールを予定していますかということです。

議長（田中三江君） 今井産業振興課長。

産業振興課長（今井一行君） 場所は、南平地籍です。面積は、すいません、時間をいただいて、この間にお答えさせていただきます。

議長（田中三江君） 7番、村田桂子君。

7番（村田桂子君） 村田です。これは、もう今まで植えた木がだんだん成木になって、どんどん売却出来る状況になっているということなんですから、今年度はここだけということにされたのは、ほかのところはやらないで、南平だけなんだろう。ほかのところも計画的になんかと思うんですけど、それを教えてもらえればと思います。

議長（田中三江君） 今井産業振興課長。

産業振興課長（今井一行君） この分は、来年度、長野県の植樹祭がこの地籍において行われます。その関係で、県において測量したところが、面積が少し増えているということで、その分の設計料とのことです。

議長（田中三江君） 7番、村田桂子君。

7番（村田桂子君） 私が聞いたかったのは、つまり、今年度はコロナの関係で税収が減っているよということがありました。町長のお言葉の中にもありましたけれど、少しでも補填できるように成木となったところをさらに伐採をして収入に入れ込むことが出来ないかなということで、もう少し伐採が出来て売却が出来れば、そういう事業に充てたらどうかというふうに考えたものですから、そこで質問をしたところです。そういうことは今年度は考えていないんですか。

議長（田中三江君） 今井産業振興課長。

産業振興課長（今井一行君） 森林経営は、短期的に考えるものではなくて長期的にいろいろと考えていかなければならないものです。一定程度の計画を持って対応しておりますので、今言われたような趣旨で緊急に、例えば間伐の場所を増やすとか、その辺の考え方はございません。

事業をやるに当たってどうしても補助事業ということで補助金を頂きたいというところやっておりますので、その辺の取り組める面積というのも補助金を見ながらやっております。

そんなことで、今回のものはそういう事情のあるということで、言われた趣旨の、

その分特別に増やせないかということに関しては、考えておりません。

以上です。

議長（田中三江君） 7番、村田桂子君。

7番（村田桂子君） その件については分かりました。

次に、企画でお伺いしたいと思います。企画だと思います。21ページの3番、地域交通対策費でお伺いいたします。

前、3月の全員協議会で中仙道線の立科から佐久までのルートを廃止の方向が出されたんだけど、町としては努力をしたいと。そういうことで、しばらく皆さんには黙っていてくれと。6月3日まで黙っていてくれということで全員協議会ではご報告がありましたね。私は、相当努力をされるんだろうなと思っていたんですけど、結果廃止になって代替線も出来たんですけど、廃止という形になりました。

それで、やっぱりそういうことは利用者の皆さんに広く伝えて、やっぱり廃止しないでほしいというような運動ですとか世論を高めることが必要ではなかったのかと私は思っています。私は言われたとおりに黙っていました、ニュースにも書きませんでしたし、けど利用者の方は、そこが廃止になるんかいということになってしまうわけなので、その対応です。どういう努力をされたのかということと、住民に何で知らせないんだと、住民から広く意見を聞くということも必要だったのではないかとということで、この点について。これは、新たな運行委託ということで予算化されているんですけど、取組の仕方についてお伺いしたいと思います。

議長（田中三江君） 竹重企画課長。

企画課長（竹重和明君） お答えいたします。全協で、取扱い注意ということで、佐久市と共同で行うものであって、佐久市で発表されるまでうちのほう、公表は控えてくれという話はしております。その間も、佐久市とも打合せをしておりましたが、一番の取扱い注意の目的は、うちのほうは全協でお示ししたんですけど、佐久市のほうも同じように全協なりで説明したいという意向でしたので、それまで公表、ちょっとタイミングが違ったので、それまでの公表は控えてほしいということでお願いした経過でございます。

以上です。（発言の声あり）

議長（田中三江君） 竹重企画課長。

企画課長（竹重和明君） お答えいたします。12月の全員協議会のときは廃止にならないようお願いしていくというお話をしましたが、3月のときには、千曲バスの中仙道線の自主路線は廃止が決定したというお話をしております。その中で立科町と佐久市で地域幹線は確保しなければならないので、委託をして中仙道線を維持していく方向が決定したという報告をしておりますので、もうその時点では決まっていたという報告をいたしました。（発言の声あり）はい。

町では、その前に廃止しないように要請したのは、その前に1月の全協のときにお

話をしたときには、町では千曲バスに対して廃止しないようお願いをしていたんですが、やはり今までも千曲バスさんの中仙道線は赤字ということで、それを高速道路、高速バス、貸切りバスの運賃で賄っていたんですけども、それが新型コロナウイルスにおいて、そちらのほうも収益が上がらず、どうしても路線バスの損失を補うことが出来なくなっているということで中仙道線の自主運行を持続することは出来なかった経過でございます。

以上です。

議長（田中三江君） 7番、村田桂子君。

7番（村田桂子君） 努力をされて、代替のルートも造っていただいたことを私は評価したいし、その570万円はそれだろうなということは理解しているんですけども、やっぱり利用している住民にきちんと、廃止の件ももう決まっていたのであればなおさら口止めすることなく、ちゃんとお話をして住民の意見を聞くなりすることが必要だったのではないかなと。

私は、この間を見ていると、取扱い注意と言って黙っててくださいみたいなことが多いので、私はこれは住民の暮らしに直結するようなことはちゃんと公表しながら意見を聞く取組をする、そういう姿勢が必要だと思うんです。

結局黙っていて廃止になったじゃないのと私も言われるわけです。知っていたの。いや、ちょっと黙っていてくれと言われたんで黙っていましたということになっちゃうわけですね。その姿勢も問題なんじゃないですか。そのことは苦言を呈しておきます。終わります、それは。

次の質問をよろしいでしょうか。

議長（田中三江君） はい。

7番（村田桂子君） 次、土木費でお伺いします。土木費はうちの管轄。ごめんなさい、いいです、そっちのほうは後にします。

以上です、ごめんなさい。

議長（田中三江君） ほかに質疑はございますか。

〔（なし）の声あり〕

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

◎日程第5 議案第41号

議長（田中三江君） 日程第5 議案第41号 令和3年度立科町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）についての質疑を行います。

質疑のある方の発言を許します。質疑はありませんか。

〔（なし）の声あり〕

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

◎日程第6 議案第42号

議長（田中三江君） 日程第6 議案第42号 令和3年度立科町下水道事業会計補正予算（第1号）についての質疑を行います。質疑はありますか。

〔（なし）の声あり〕

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

◎日程第7 議案第43号

議長（田中三江君） 日程第7 議案第43号 令和3年度立科町水道事業会計補正予算（第1号）についての質疑を行います。

質疑のある方の発言を許します。質疑はありますか。

〔（なし）の声あり〕

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

◎日程第8 議案第44号

議長（田中三江君） 日程第8 議案第44号 令和3年度立科町索道事業特別会計補正予算（第1号）についての質疑を行います。

質疑のある方の発言を許します。質疑はありますか。7番、村田桂子君。

7番（村田桂子君） 今回の索道事業では、降雪機、降雪マシンの新規購入、それからICゲート設置、貯水槽整備ということで起債が組まれています。

それで、起債の金額を足しますと、貯水池の改修というのは入っていないんですけども、これは起債の対象にならないということでよろしいでしょうか。それが、まず一点目です。

それから、入札予定は何社を予定しているのでしょうか。メンテは購入したところがやるのでしょうか。この基本的なところでお願いいたします。

議長（田中三江君） 今井産業振興課長。

産業振興課長（今井一行君） 特別、配水池の分を抜いたということではございません。全体事業費が辺地の対象としておりますのでということでございます。

それと、発注のその関係は総務課長のほうから答えてもらいます。何社ぐらい。

それと、もう1点、何でしたか。（メンテ）の声あり）メンテナンスについては、今回入れるものは、降雪機に関しては定期メンテナンス、いわゆる定期的な、毎年行っていかなければいけないようなメンテナンスは不要なものであります。

以上です。（発言の声あり）

議長（田中三江君） よろしいですか。（発言の声あり）メンテナンスについて、もう一度しません、今井産業振興課長。

産業振興課長（今井一行君） いわゆる定期的なメンテナンスは不要でございます。

以上です。

議長（田中三江君） 齊藤総務課長。

総務課長（齊藤明美君） 入札の関係につきまして、お答えさせていただきます。

指名に当たりましては、この予算が通りましたら所要の手続をさせていただき予定でございますが、何社指名するかにつきましては、業者選定委員会等で選定をしていくことになるかと考えております。

以上です。

議長（田中三江君） 7番、村田桂子君。

7番（村田桂子君） 基本的なところで伺いますけれども、この間の全員協議会で説明があったときには、国際でファンタイプ9台、2 in 1で5台、またスティックタイプ33台ということで、2億2,000万円余を予算化したいというふうにお伺いしました。

これは、全く新規の購入なのか、在来のものに換えて更新するものなのか、その性質について伺います。

それから、この間ちょっと会話の中でガンタイプも入れるとおっしゃっていたんですけど、このガンタイプの降雪というのはスティックタイプとは違うんでしょうか、その説明です。お願いします。

議長（田中三江君） 今井産業振興課長。

産業振興課長（今井一行君） まず、ガンタイプに関しては、ガンタイプを導入するということは言ってごさいません。ガンタイプは、今回の導入には入っておりませんので、よろしく願いいたします。

基本的に今回導入するものは、更新ではなくて、言ってみると追加していくような形になります。一部、さっき言ったガンタイプと置き換えをしていくものが場所によって出てくると思います。

以上です。

議長（田中三江君） 7番、村田桂子君。

7番（村田桂子君） もう少し基本的に聞かなくちゃいけなかったんですけど、その大変な台数、私にとっては初めてと言っていいくらいの大量の新規購入になるわけですけども、これは町が考えてこれだけ必要だなということで設定されたのか。それとも、指定管理のほうからの進言があって、この数字を入れたのか。今ちょっと3回目なので、ちょっとほかにも言わなくちゃいけないんですけど。

町が独自の判断でおやりになったのかどうかと、そこをまず確認したいと思います。その上で、これは町長にお伺いしたいんですけど、この間の3月の本予算のときには、コロナの関係で大変税収が落ち込んでいると。だから、不要不急なものは極力やめて、一番大事なものに重点化したいというような趣旨のことをおっしゃいました。そうだな、もっともだなと思ったんですけど、これを大量に新規購入する、2億円以上超えてです。確かに、その8割は交付税措置だとおっしゃったんですけど、それだったら町の負担が一体どのぐらいになるのかということも数字として聞いておかななくち

やいけないし、それは後でお答えください。

その上で、町長、本当にこれが今やらなくちゃいけないことなのか。特に、今コロナ禍でお客さんが大変少なくなっています。税収も落ち込み、お客さんも少なくなっている中で今やらなくちゃいけないのか。ワクチンが行き渡って落ち着いた来年以降に回したっていいんじゃないかという点で、大変この事業の必要性について私は疑問があります。

そこら辺、先ほど、もし指定管理の進言によってそのまま全てをここに盛ったということであれば、町の自主性はどこにあるのかなど。そのままなのか、半分に減らしてもこの程度なのか、このくらいになってしまったのか、そこら辺の進言に対する町の判断の割合です。それで、町の負担割合は一体どのくらいなのかと。この基本的な数字について全協ではお伺い出来なかったもので、ここで伺います。町長の判断もお願いします。

議長（田中三江君） 今井産業振興課長。

産業振興課長（今井一行君） まず、私のほうにお尋ねいただいた件からお答えさせていただきます。と思います。

この本予算には、今反映をさせてごさいませんが、全員協議会の中ではお話をさせていただきました。補助率2分の1の国の補助金の申請をさせていただきます。その計画を立てるに当たって、この計画が当スキー場のみならず、白樺湖近隣エリアのスキー場を網羅した計画でございまして、これは指定管理者のほうで中心になって、関係スキー場を取りまとめてこの申請をさせていただきます。

その関係で、言ってみるとこの台数については、指定管理者の提案というふうになるかと思えます。この関係の数量の妥当性につきましては、私もいろいろご指摘のあった以降、確認を取ったりもしているんですけども、こういったものはいわゆるスノーマシンに携わる業者であって、当スキー場を確認すれば、ここにこれだけのものが必要だというのは必然的に出てくるんだそうです。今回、このエリアをこうしたい、ここをこうしたいという考えがある中で選定した台数であるということでございます。

私のほうからは、以上ということですのでよろしくお願いいたします。

議長（田中三江君） 両角町長。

町長（両角正芳君） それでは、お答えをさせていただきます。

確かに、私は新年度予算組みのときに招集挨拶の中でも申し上げました。非常に厳しい財政状況が続いてきておりますし、これからも続くという中で、しっかりとゼロベースで予算の見直しをしていくということは、当然のことだということに思っておりますし、また議員の皆様もそのように理解をされているというふうに考えております。

今回の索道の補正予算、リフトの事業の関係につきましての機器の購入につきまし

ては、先ほど担当課長から申しあげましたように、やはり今まで町が当然出来る状況があれば、当然計画的にそれを進めてきていましたけれども、大変じだんだを踏んだような状況の中で事業が取り込めないということは、これは私が当初申しあげましたように、町の血税を100%投入してやっていくということになりますと、幾ら計画的にやりましても、それは大きな支出になるわけでございますし、町民の負担になるわけであります。

今回、私どものほうだけでなく、周りのスキー場共々に互いにそれを協力し合って今回のこの事業にこぎ着けたということは、今回のこのチャンスを逃すということになりますと、また自分たちのだけでまた何かをやるということは、新たな負担増の発生が行われるということもございますので、今回は、少なくとも、当然予算的な部分では十分検討させていただきましたけれども、今回のこのチャンスに対してそれは進めていくという判断をさせていただきました。

議長（田中三江君） ここで、今井産業振興課長から発言を求められていますので、発言を許可します。

産業振興課長（今井一行君） 負担の関係のことがお答えになっておりませんので、これは数字が大きくなりますので、これがそのまま即町民負担になるというふうに理解をしていただきたくないんですけれども、それは先ほど言っているように、補助金が2分の1来そうだという前提で今回町としても大きな投資を決断しているところもあります。ですので、今から言うのは単純な計算の結果ということをお願いしたいと思います。

辺地債を2億6,860万円借りますので、これが満額充当されたとしたときに、2億6,860万円掛ける20%になりますので、5,372万円になります。これが最終的に起債の償還等の中で将来にわたって負担していく分になるかと思えます。ただし、冒頭言わせてもらったように、このうちのうまくいけば半分は補助金で賄えるのを期待をしているということでございます。よろしく申し上げます。

議長（田中三江君） ほかに質疑はございませんか。

〔（なし）の声あり〕

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

◎日程第9 陳情第3号

議長（田中三江君） 日程第9 陳情第3号 「『さらなる少人数学級推進と教育予算の増額』と『義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充』を求める意見書」採択を求める陳情書について、ご意見をお持ちの方の発言を許します。意見はありませんか。

〔（なし）の声あり〕

意見なしと認めます。

お諮りします。ただいま議題となっております議案及び陳情については、お手元に配付いたしました議案付託表のとおり、各常任委員会へ付託したいと思えます。ご異

議ありませんか。

〔（異議なし）の声あり〕

異議なしと認めます。したがって、お手元の議案付託表のとおり、各常任委員会へ付託することに決定しました。

以上で、本日の日程は全部終了しました。

本日はこれで散会とします。ご苦労さまでした。

（午前10時31分 散会）